

日本農薬学会第42回大会プログラム

日時：平成29年3月6日(月)～3月8日(水)

会場：松山全日空ホテル (〒790-8520 松山市一番町3-2-1)

愛媛大学(城北キャンパス) (〒790-8577 松山市文京町3番)

大会日程

3月6日(月) 松山全日空ホテル

総会および授賞式 南館4階エメラルドルーム 10:00-11:30
会務報告, 会計監査報告, 議事
日本農薬学会賞授賞式

平成29年度日本農薬学会賞受賞者講演 南館4階エメラルドルーム
奨励賞 11:30-11:50

永井孝志 (農業・食品産業技術総合研究機構農業環境変動研究センター)
業績賞(研究) 13:30-14:05

橋床泰之 (北海道大学大学院農学研究院)
業績賞(技術) 14:05-15:15

古谷敬, 町谷幸三, 藤岡伸祐, 中野元文, 稲垣勝裕 (日本農薬(株))

木村教男, 橋爪雅也, 草場友之, 田中創一 (住友化学(株), 住化テクノサービス(株))

特別講演 南館4階エメラルドルーム 15:30-17:30
Martin Williamson (Rothamsted Research, UK)
西口正通 (愛媛大学・名誉教授)

懇親会・受賞祝賀会 本館4階ダイヤモンドボールルーム 18:00-20:00

3月7日(火) 愛媛大学(城北キャンパス)グリーンホール, 共通講義棟 A
一般講演, シンポジウム, 編集委員会企画セミナー, ランチョンセミナー, 展示 8:45-17:10

3月8日(水) 愛媛大学(城北キャンパス)グリーンホール, 共通講義棟 A
一般講演, シンポジウム, 技術士試験対策セミナー, ランチョンセミナー, 展示 8:45-16:40

平成 29 年度日本農薬学会賞受賞者講演

3 月 6 日(月) 松山全日空ホテル南館4階エメラルドルーム

奨励賞

- AL1 永井孝志 (農業・食品産業技術総合研究機構農業環境変動研究センター) 11:30-11:50
「種のご感受性分布を用いた農薬の生態リスク評価に関する研究」
座長: 田村廣人 (名城大学)

業績賞(研究)

- AL2 橋床泰之 (北海道大学大学院農学研究院) 13:30-14:05
「化学生態学に基づいた植物病原菌および脱窒細菌の代謝制御に関する研究」
座長: 石原亨 (鳥取大学)

業績賞(技術)

- AL3 古谷敬, 町谷幸三, 藤岡伸祐, 中野元文, 稲垣勝裕 (日本農薬(株)) 14:05-14:40
「殺ダニ剤「ピフルブミド」の開発」
座長: 波多野連平 (日本曹達(株))
- AL4 木村教男, 橋爪雅也, 草場友之, 田中創一 14:40-15:15
(住友化学(株), 住化テクノサービス(株))
「殺菌剤「フェンピラザミン」の開発」
座長: 中平国光 (日産化学(株))

特別講演

3 月 6 日(月) 松山全日空ホテル南館4階エメラルドルーム

- PL1 Martin Williamson (Rothamsted Research, UK) 15:30-16:30
「Mechanisms of insecticide resistance in the green peach aphid, *Myzus persicae*」
座長: 西脇寿 (愛媛大学大学院)
- PL2 西口正通 (愛媛大学・名誉教授) 16:30-17:30
「弱毒ウイルスによる植物ウイルス病の防除:過去・現在から未来へ」
座長: 山内聡 (愛媛大学大学院)

シンポジウム1

3月7日(火) 愛媛大学(城北キャンパス)・グリーンホール(A会場)

「四国の生産現場の問題解決」

オーガナイザー: 山内聡 (愛媛大学大学院)

西甲介 (愛媛大学大学院)

開会挨拶	13:45-13:50
S201 愛媛県における県産農産物の出荷前残留農薬分析調査の取り組み 間健二 (愛媛県農林水産研究所)	13:50-14:20
S202 香川県における健康診断に基づくブロッコリー根こぶ病管理について 中西充 (香川県農業試験場)	14:20-14:50
S203 外来種クビアカツヤカミキリの徳島県内での発生状況とその対策について 中野昭雄 (徳島県立農林水産総合技術支援センター)	14:50-15:20
S204 高知県におけるIPM技術の課題と今後の展望について 中石一英 (高知県農業振興部)	15:35-16:05
S205 小麦赤かび病を適期に防除するための開花期予測システム 黒瀬義孝 (農研機構西日本農業研究センター)	16:05-16:35
S206 FTIRを用いたカンキツ中の残留農薬迅速簡易定量 山本一樹 (三浦工業(株))	16:35-17:05
閉会挨拶	17:05-17:10

シンポジウム2

3月8日(水) 愛媛大学(城北キャンパス)・グリーンホール(A会場)

「生物の薬剤応答・抵抗性戦略から解き明かす農薬開発とシミュレーション技術の活用」

共催:農薬バイオサイエンス研究会

オーガナイザー:乾秀之(神戸大学遺伝子実験センター)

西脇寿(愛媛大学大学院)

開会挨拶	13:45-13:50
S301 Insect ryanodine receptors as molecular targets for diamide insecticides Bartek Troczka (Rothamsted Research)	13:50-14:20
S302 共生微生物が賦与する昆虫の農薬抵抗性 菊池義智(国立研究開発法人 産業技術総合研究所 北海道センター)	14:20-14:50
S303 米国産タイヌビエにおける多剤抵抗性機構の解明に向けて 岩上哲史(京都大学大学院 農学研究科)	14:50-15:20
S304 ABA 内生量の上昇を誘導するセオブロキシド 松浦英幸(北海道大学大学院 農学研究院)	15:35-16:05
S305 受容体-リガンド複合体モデルとリガンドデザイン 石黒正路(新潟薬科大学 応用生命科学部)	16:05-16:35
閉会挨拶	16:35-16:40

編集委員会企画セミナー

3月7日(火) 愛媛大学(城北キャンパス)・共通講義棟 A 3 階 講 32(F 会場) 12:30-13:30

1. 編集委員長と話そう！～初めての論文投稿で気を付けるべきポイントは？～
夏目雅裕（日本農薬学会編集委員長，東京農工大学大学院教授）
2. 参加者と編集委員長との意見交換

★募集人数:40名(当日の朝 8:15 から受付付近でチケットを配布します。奮ってご参加ください。)

技術士試験対策セミナー

3月8日(水) 愛媛大学(城北キャンパス)・共通講義棟 A 3 階 講 31(E 会場) 12:30-13:30

1. 制度の紹介 12:30-12:35
橋本良子（技術士育成推進委員会委員，(公財)東京都農林水産振興財団）
2. 技術士の活躍の場～GAP の取組支援～ 12:35-13:30
今瀧博文（GAP普及推進機構）

★募集人数:50名(当日の朝 8:15 から受付付近でチケットを配布します。奮ってご参加ください。)

ランチオンセミナー

3月7日(火) 愛媛大学(城北キャンパス)・共通講義棟 A 12:30-13:30

L1 農薬工業会

会場：3階 講 31(E 会場)
演題：食料生産の重要性と農薬の役割
演者：廣岡卓（農薬工業会事務局）

L2 エンヴィーゴ株式会社

会場：4階 講 41(H 会場)
演題：Impact of pesticide application to environmental organisms
演者：Dr. Katie Barrett, Expert Consultant (Ecotoxicologist), Regulatory Consulting,
Envigo CRS Limited

L3 日本チャールス・リバー株式会社

会場：3階 講 35(G 会場)
演題：Ensuring the Regulatory Compliance of Qualitative Mass Spectrometry Equipment and Data in Support of Agrochemical Development

演者: David Macpherson BSc MRSB FRSC, Head of Chemistry and Field Trials, Charles River
Edinburgh

L4 Pharmaron UK [世話役: ビオブリッジ株式会社]

会場: 4階 講 45(I会場)

演題: Pharmaron's Integrated Agrochemical Approach -i) Radiosynthesis ii) Regulatory and Scientific developments in Animal Metabolism studies.

－農薬開発における動物代謝試験への一貫した取り組みのご紹介－

演者: Judith Smith, Director of Business Development, Pharmaron UK

Adrian Waring, Director of Metabolism, Pharmaron UK

★ランチョンセミナーL1, L2 では 50 名まで, L3, L4 では 100 名まで弁当が無料で提供されます。チケットは、各セミナー当日の朝 8:15 から受付付近で配布します。奮ってご参加ください。

3月8日(水) 愛媛大学(城北キャンパス)・共通講義棟 A

12:30－13:30

L5 IES Ltd 社 [世話役: 株式会社スリーエス・ジャパン]

会場: 3階 講 35(G会場)

演題: Current progress and challenges towards pollinator testing and risk assessment for international plant protection product registration.

－ 農薬国際登録におけるミツバチ試験とリスクアセスメントに関する現状と課題 －

演者: Dr. Stefan Kimmel, IES Ltd. (座長: 野村政直(石原産業(株)))

L6 Exponent, Inc. [世話役: 株式会社メディアサービス]

会場: 4階 講 45(I会場)

演題: The United States Environmental Protection Agency and Pesticide Registration in 2017 and Beyond: What Can We Expect?

演者: Stephanie Stephens, Senior Managing Scientist

★各ランチョンセミナーでは、100 名まで弁当が無料で提供されます。チケットは、各セミナー当日の朝 8:15 から受付付近で配布します。奮ってご参加ください。

展示会

愛媛大学(城北キャンパス)・共通講義棟 A 2階 講 22

3月7日(火) 9:00－16:00

3月8日(水) 9:00－16:00

出展: 株式会社スリーエス・ジャパン

講演日程一覧

	A 会場 (グリーンホール)	B 会場 (講 11)	C 会場 (講 21)	D 会場 (講 24)
3月7日(火) 8:45-12:15	一般講演	一般講演	一般講演	一般講演
12:30-13:30	編集委員会企画セミナー(F会場), ランチョンセミナー(E, G, H, I会場),			
	シンポジウム 1			
13:45-17:10	四国の生産現場 の問題解決			
3月8日(水) 8:45-12:00	一般講演	一般講演	一般講演	一般講演
12:30-13:30	技術士試験対策セミナー(E会場), ランチョンセミナー(G, I会場)			
	シンポジウム 2			
13:45-16:40	生物の薬剤 応答・抵抗性 戦略から解き明 かす農薬開発と シミュレーション 技術の活用			

ランチョンセミナー会場

	E 会場 (講 31)	F 会場 (講 32)	G 会場 (講 35)	H 会場 (講 41)	I 会場 (講 45)
3月7日(火) 12:30-13:30	農薬工業会	編集委員会企画 セミナー	日本チャールス・ リバー株式会社	エンヴィーゴ株式 会社	Pharmaron UK/ ビオブリッジ(株)
3月8日(水) 12:30-13:30	技術士試験対策 セミナー		IES Ltd 社/ 株式会社スリー エス・ジャパン		Exponent, Inc./ 株式会社メディア サービス

大会日程表

第 1 日 3 月 6 日 (月)	
松山全日空ホテル	
総会および 日本農業学会賞 授賞式	
10:00	総会
11:00	授賞式
受賞者講演	
11:30	奨励賞
11:50 ～ 13:30	昼食休憩
13:30	業績賞(研究)
14:05	業績賞(技術)1
14:40	業績賞(技術)2
15:15	休憩
15:30	特別講演 1
16:30	特別講演 2
17:30	会場移動
18:00 ～ 20:00	懇親会

第 2 日 3 月 7 日 (火)				
愛媛大学・グリーンホール, 共通講義棟A				
開始 時刻	A 会場 グリーン ホール	B 会場 (講 11)	C 会場 (講 21)	D 会場 (講 24)
8:45	A201	B201	C201	D201
9:00	A202	B202	C202	D202
9:15	A203	B203	C203	D203
9:30	A204	B204	C204	D204
9:45	A205	B205	C205	D205
10:00	A206	B206	C206	D206
10:15	A207	B207	C207	D207
10:30	A208	B208	C208	D208
10:45	A209	B209	C209	D209
11:00	A210	B210	C210	D210
11:15	A211	B211	C211	D211
11:30	A212	B212	C212	D212
11:45		B213	C213	D213
12:00		B214		D214
12:30 ～ 13:30	編集委員会企画セミナー(F 会場) ランチョンセミナー(E 会場, G 会場, H 会場, I 会場)			
13:45 ～ 17:10	シンポ ジウム 1			

第 3 日 3 月 8 日 (水)				
愛媛大学・グリーンホール, 共通講義棟A				
開始 時刻	A 会場 グリーン ホール	B 会場 (講 11)	C 会場 (講 21)	D 会場 (講 24)
8:45	A301	B301	C301	D301
9:00	A302	B302	C302	D302
9:15	A303	B303	C303	D303
9:30	A304	B304	C304	D304
9:45	A305	B305	C305	D305
10:00	A306	B306	C306	D306
10:15	A307	B307	C307	D307
10:30	A308	B308	C308	D308
10:45	A309	B309	C309	D309
11:00	A310	B310	C310	D310
11:15	A311	B311	C311	D311
11:30	A312	B312	C312	D312
11:45	A313	B313	C313	D313
12:00				
12:30 ～ 13:30	技術士試験対策セミナー(E 会場) ランチョンセミナー(G 会場, I 会場)			
13:45 ～ 16:40	シンポ ジウム 2			

一般講演座長一覧

平成 29 年	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
3 月 7 日(火)	宮下正弘 (A201-A203)	森本正則 (B201-B204)	松田史生 (C201-C203)	坂真智子 (D201-D204)
	金 仁恵 (A204-A206)	山内 聡 (B205-B208)	山田直隆 (C204-C207)	岡本みなみ (D205-D208)
	王 敬銘 (A207-A209)	網干貴子 (B209-B211)	太田広人 (C208-C210)	望月 証 (D209-D211)
	仲下英雄 (A210-A212)	甲斐建次 (B212-B214)	古田賢次郎 (C211-C213)	島本文子 (D212-D214)
	下村 勝 (A301-A303)	野下浩二 (B301-B304)	河合 清 (C301-C303)	乾 秀之 (D301-D303)
	西脇 寿 (A304-A307)	塩月孝博 (B305-B307)	赤松美紀 (C304-C306)	長岡ひかる (D304-D307)
3 月 8 日(水)	岩越光彦 (A308-A310)	岡澤敦司 (B308-B310)	田村廣人 (C307-C309)	西 甲介 (D308-D310)
	矢島 新 (A311-A313)	石原 亨 (B311-B313)	吉實隆志 (C310-C313)	山下真生 (D311-D313)

第 42 回大会(松山)実行委員会

実行委員長: 山内 聡(愛媛大学)

委員: 西脇 寿(愛媛大学) 西 甲介(愛媛大学) 金 仁恵(愛媛大学) 長岡ひかる(愛媛大学)
 山田直隆(九州大学) 塩月孝博(農業生物資源研究所) 山下真生(日本農薬株式会社)
 岩越光彦(住友化学株式会社)

一般講演についてのお願い

講演はすべて、Microsoft PowerPointで作成されたファイルを液晶プロジェクターで投影して行います。講演時にトラブルが起きないように、下記の注意点を参考にしてファイルの作成と受付を行ってください。使用するノートパソコン（OS: Windows 7）には、最新のMicrosoft PowerPoint Viewer（無料ソフト）がインストールされています。演台上のPCは、補助者はつきませんが、原則として演者の方ご自身で操作していただきます。

ファイル作成の注意点

- (1) 発表1題につき1つのファイルを作成し、ファイル名は講演番号_講演者名（半角英数のみ使用）.ppt（あるいは.pptx）としてください。
例: A101_Ehime.ppt
- (2) 講演時間は1題15分（講演12分、討論3分）です。12分の発表時間に適したスライドの枚数にしてください。また、遠距離からも十分見えるよう、文字のサイズやフォントの選択に留意してください。
- (3) スライド中に使用するフォントは、文字化けを防ぐために機種依存文字(①, (株)など)の使用は、極力避けてください。
- (4) 動画等を含む大容量のファイルはトラブルの原因になりますので、極力避けてください。やむを得ない場合は、ファイルを可能な限り圧縮してください。
- (5) 作成されたファイルはWindows版のPowerPointでスムーズにスライドショーができることを確認してください。特にMacintoshをご使用の方は、ファイルをお持ちいただく前に、Windows版のPowerPointで動作確認を各自お願いいたします。特にフォントずれや文字化け、オブジェクトの非認識等にご注意ください。

データ受付の流れ

発表ファイルの受付は、原則として 3月6日(月)（一般講演前日）に済ませてください。発表者が受付できない場合は、共同発表者の方が代わりに行ってください。発表直前の受付はご遠慮ください。

- (1) 発表用ファイルはUSBメモリに保存してお持ちください。
- (2) 総会会場の受付付近に設置した「発表ファイル受付」にて、ウイルスチェックを行なった後、発表ファイルをコピーしていただき、スライド動作に問題がないかどうかを確認してください。
- (3) 万が一のトラブルに備え、発表用ファイルの入ったUSBメモリは、発表時にご持参ください。
- (4) 大会終了後は、講演会場用PCにコピーされた発表ファイルは大会実行委員立会いの下、確実に削除いたします。

一般講演

講演 12 分, 討論 3 分 (1 鈴 10 分, 2 鈴 12 分, 3 鈴 15 分)

第 2 日 3 月 7 日(火)午前の部 A 会場 (グリーンホール)

8:45	A201	イミダゾリジン環に不飽和結合を有する置換基を導入したイミダクロプリド類縁体の生物活性 ○釘屋敦基, 福島菜央, 松原祐佳, 山内聡, 西脇寿 (愛媛大院・農)
9:00	A202	新規殺虫剤フルキサメタミド(グレーシア®)に関する研究(第一報) 三田猛志, ○古川裕貴, 岩佐基悦, 菊池隆正, 菰田充陽 (日産化学工業株式会社)
9:15	A203	トシル化学によるミトコンドリア複合体-I のユビキノン結合部位の特異的メチル化 ○榎谷貴洋, 稲岡宏幸, 村井正俊, 三芳秀人 (京大院・農・応用生命)
9:30	A204	テトラヒドロキノリン型脱皮ホルモンアゴニストの定量的構造活性相関 ○横井大洋, 中川好秋, 宮川恒 (京大院・農)
9:45	A205	ヒドロキシルアミン酸化還元酵素を標的とした硝化抑制剤の構造ベース創農薬 ○西ヶ谷有輝 ^{1,2} , 土屋渉 ¹ , 藤本瑞 ¹ , 山崎俊正 ¹ (¹ 農研機構・高度解析センター, ² 東大院・新領域・先端生命)
10:00	A206	新規除草剤シクロピリモレートに関する研究 ~発見の経緯~ ○門谷淳二 ¹ , 塚本芳久 ¹ , 駒井浩之 ¹ , 三尾茂 ² , 坂本隆 ¹ , 田丸洋 ¹ , 吉野康佑 ¹ (¹ 三井化学アグロ株式会社, ² 三井化学株式会社)
10:15	A207	ベンゾローグ環を導入した新しいピラゾリノン誘導体の合成と除草活性 ○小林修 ¹ , 高綱怜子 ¹ , 河内真一郎 ² , 川西直樹 ² , 山田修 ² , 新倉直子 ¹ , 立野智子 ¹ , 中村慎司 ¹ , 平井憲次 ¹ (¹ 相模中央化学研究所, ² 科研製薬)
10:30	A208	植物カロテノイド酸化開裂酵素阻害剤の創製と活性評価 ○高橋郁夫, 小石原暉, 浅見忠男 (東大院・農生科)
10:45	A209	ストリゴラクトン受容体阻害剤の探索研究 ○胡文倩, 喜久里貢, 中村英光, 姜凱, 徐玉群, 平林圭, 宮川拓也, 田之倉優, 浅見忠男 (東大院・農生科・応生化)
11:00	A210	オーキシン生合成阻害剤の開発とその作用機作解析 ○添野和雄 ¹ , 寛雄介 ² , 嶋田幸久 ² (¹ 農研機構・西日本農研, ² 横浜市大・木原生物研)
11:15	A211	エチレン活性を示す新規化合物の発見と作用機構解析研究 ○王敬銘, 富尾冴, 星智樹, 原光二郎, 上田健治, 吉澤結子 (秋田県立大・生物資源)

11:30 A212 配座制限型 ABA 受容体アンタゴニスト PAO4 の構造展開
○永宮光¹, 竹内純², 轟泰司¹(¹静岡大・農応生科, ²静岡大・学院院融合
グローバル領域)

第2日 3月7日(火)午前の部 B会場 (共通講義棟 A 講11)

8:45	B201	9-Norlignan 誘導体の HeLa, HL60 細胞と Sf9 細胞に対する細胞毒性 ○庄司有璃子, 西脇寿, 西甲介, 菅原卓也, 山内聡 (愛媛大院・農)
9:00	B202	ラクトン型リグナンの構造と植物生長調節活性との関係 ○西本明日香, 山下恭加, 西脇寿, 山内聡 (愛媛大院・農)
9:15	B203	トマトが生産する新奇ストリゴラクトンの探索 ○謝肖男 ¹ , 米山香織 ¹ , 内田健一 ² , 横田孝雄 ² , 野村崇人 ¹ , 米山弘一 ¹ (¹ 宇都宮大・バイオ, ² 帝京大・理工学部・バイオ)
9:30	B204	イネ苗立枯細菌病菌 <i>Burkholderia plantarii</i> におけるファイトキシン・ トロポロン生合成経路の研究: 阻害剤を用いた生合成中間体探索 ○立花誠治 ¹ , 王蒙岑 ² , 橋床泰之 ¹ (¹ 北大院農・応生科, ² 浙江大・農薬 環境研)
9:45	B205	<i>Burkholderia</i> 属細菌間の増殖や機能性制御に関わるシグナル因子の探索 ○能崎薫 ¹ , Setiawan Anastasia ² , 橋床泰之 ² (¹ 北大農, ² 北大院農)
10:00	B206	日本国内帰化ランタナの葉部に含まれるトリテルペン類の昆虫制御活性 ○森本正則 ¹ , 福嶋ひとみ ¹ , 伊藤一幸 ² , 松田一彦 ¹ (¹ 近畿大・農, ² 神戸大・ 農)
10:15	B207	インドールアルカロイドオカラミンの活性発現に関する研究: ターゲットの 特性と結合部位 ○古谷章悟 ¹ , 伊原誠 ¹ , 甲斐建次 ² , 林英雄 ² , 松田一彦 ¹ (¹ 近畿大・農, ² 阪府大・生環科)
10:30	B208	ヤエヤマサソリの毒液に含まれる抗菌性ペプチドの構造決定と活性評価 ○岡部諒太 ¹ , 北中淳史 ¹ , 内山博允 ² , 須恵雅之 ² , 宮下正弘 ¹ , 中川好秋 ¹ , 宮川恒 ¹ (¹ 京大院・農, ² 東京農大)
10:45	B209	青枯病菌クオラムセンシング機構のケミカルクエンチング ○吉原彩華 ¹ , 嶋谷美香, 甲斐建次 (阪府大院・生命環境)
11:00	B210	青枯病菌クオラムセンシングシグナル分子はヒスチジキナーゼ PhcS の 膜貫通ドメインに受容される ○甲斐建次 ¹ , 嶋谷美香 ¹ , 曳地康史 ² (¹ 阪府大院・生命環境, ² 高知大・ 農)
11:15	B211	青枯病菌のクオラムセンシングシグナル分子はメチル基転移酵素 PhcB に より合成される ○氏田夢斗 ¹ , 嶋谷美香 ¹ , 曳地康史 ² , 甲斐建次 ¹ (¹ 阪府大院・生命環境, ² 高知大・農)

- 11:30 B212 イネ傷害葉における isopentylamine の蓄積
○網干貴子¹, 加茂万莉奈¹, 寺石政義², 石原亨³, 奥本裕², 森直樹²
(¹山形大農, ²京大院農, ³鳥取大農)
- 11:45 B213 クロロフィルの構成成分であるフィトールは植物のサツマイモネコブ
センチュウ抵抗性を誘導する
○瀬尾茂美¹, 藤本岳人², 安部洋³, 水久保隆之⁴(¹農研機構・生物機能
利用研究部門, ²農研機構・北農研, ³理研・バイオリソースセンター, ⁴農研
機構・中央農研)
- 12:00 B214 Phylogenetic diversity of metal resistant soil bacteria and exploration of
a new siderophore produced by a Co²⁺-resistant bacterium of the genus
Pandoraea
○Dandan Li¹, Yukiko Shinozaki², Naoya Oku¹, Ryo Kanemaru¹,
Yasuhiro Igarashi¹ (¹Toyama Prefectural University, ²National
Institute of Technology, Toyama College)
-

第2日 3月7日(火)午前の部 C会場(共通講義棟A講21)

- | | | |
|-------|------|--|
| 8:45 | G201 | オカラから見出したジアセトナミンおよびその誘導体による <i>Bacillus thuringiensis</i> の効率的芽胞化とBtトキシン(Cry toxin) 産生の検証
○浅里仁美 ¹ , 池田陽 ² , Dongyeop Kim ² , 橋床泰之 ² (1北大農, 2北大院農) |
| 9:00 | G202 | 一酸化窒素によるレタス種子高温発芽阻害の低減作用
○山田直隆 ¹ , 大村亮太 ¹ , 岩井純夫 ² (1九大院・農, 2鹿児島大・農) |
| 9:15 | G203 | 新規水稻用除草剤メタミホップ粒剤の作用特性
○白水健太郎, 川西直樹, 張強, 坂本卓也, 河内真一郎(科研製薬株式会社) |
| 9:30 | G204 | 新規除草剤トルピラレートに関する研究(第3報)
○内藤優, 佐竹良和, 菅沼丈人, 小林庸輔, 菊川弘司, 三谷滋(石原産業株式会社) |
| 9:45 | G205 | 新規植物免疫活性化剤候補化合物の選抜と作用機構解析
○北畑信隆 ^{1,2} , 吉田亜祐美 ¹ , 羽山大介 ¹ , 筒井友和 ³ , 石賀康博 ⁴ , 上田貴志 ³ , 来須孝光 ^{2,5} , 浅見忠男 ⁶ , 朽津和幸 ^{1,2} (1東京理科大・理工, 2東京理大・IFC, 3基生研, 4筑波大・生命環境系, 5東京工科大・応用生物, 6東大院・農生科) |
| 10:00 | G206 | 新規殺菌剤トルプロカルブに関する研究(第6報)-土壌吸着と生物効果
○佐飛真理子, 堤京子, 小原敏明, 奥井恵美, 安楽城夏子, 山中寿城, 貞包眞吾(三井化学アグロ(株) 農業化学研究所) |
| 10:15 | G207 | 多様なヒトCYPによる農薬の代謝物予測-テブフェノジド類縁体を例として
枝松広明 ¹ , 矢川勝太 ¹ , 生城真一 ² , 榊利之 ² , 中川好秋 ¹ , 宮川恒 ¹ ,
○赤松美紀 ¹ (1京大院・農, 2富山県立大・工) |
| 10:30 | G208 | 昆虫培養細胞系を用いた殺虫剤による解毒分解活性変動の解析
○秋月岳, 塩月孝博(農研機構生物機能利用部門・昆虫制御研究領域昆虫機能制御ユニット) |
| 10:45 | G209 | ロテノン処理した動物培養細胞の代謝フラックス解析
荒木千絵 ¹ , 前田昴亮 ¹ , 岡橋伸幸 ¹ , ○松田史生 ¹ , 高橋智聡 ² , 清水浩 ¹
(1大阪大院情報科学研究科, 2がん進展制御研究所) |
| 11:00 | G210 | カイコ幼若ホルモン受容体の <i>in vitro</i> 結合試験法の開発
○山田直子, 江角環称, 安道俊彦, 古田賢次郎(島根大・生資科) |
| 11:15 | G211 | 新規殺虫剤フルキサメタミド(グレーシア®)に関する研究(第二報) 生物活性
○加々美貴弘, 堀雅仁, 春山裕史(日産化学工業株式会社) |

- 11:30 C212 カーバムナトリウム塩液剤のニラのネダニ類に対する殺虫効果
○清遠亜沙子, 山下泉, 桑尾昌宏, 市原勝, 島本文子, 広瀬拓也(高知県農技セ)
- 11:45 C213 ショウジョウバエ個体別自動活動測定システム(DIAMonDs)の開発
○成耆鉉¹, 姜時友² (¹理研筑波・分子遺伝, ²山形大・工)
-

第2日 3月7日(火)午前の部 D会場(共通講義棟A講24)

8:45	D201	レタス中におけるメタフルミゾン及びメタフルミゾン代謝物の安定性について ○澁谷直美, 平野祥子, 小杉正樹, 飯塚誠一郎, 伊佐川聡 (一般財団法人日本食品分析センター)
9:00	D202	殺菌剤のリンゴ葉への付着について(第二報) ー減衰に与える降雨の影響ー ○島村裕二 ¹ , 安部麻子 ¹ , 村山由香 ¹ , 藪崎隆 ¹ , 小宮山和俊 ² , 横澤志織 ³ (¹ JA 全農営農・技術センター, ² 全農長野県本部, ³ 長野県果樹試験場)
9:15	D203	試料採取量の少量化による分析値のばらつきについて ○藪崎隆, 新井俊介, 安部麻子, 村山由香, 島村裕二 (全国農業協同組合連合会 営農・技術センター)
9:30	D204	Influence of analysis time upon residue data ○Torsten Spitzer (Environmental, Industrial and Food Analysis)
9:45	D205	箱施用殺虫剤の処理時期が水稻濃度及び防除効果へ及ぼす影響 ○望月証, 柳澤由加里, 八瀬順也(兵庫県立農林水産技術総合センター・農業技術センター)
10:00	D206	地域特産作物等の葉菜類を対象とした残留農薬濃度予測手法の開発 (第1報)ー愛知県のシソ, エゴマを対象とした薬液付着率および成長速度に関する基礎的データの整備ー 伊藤涼太郎 ¹ , 加藤晋朗 ¹ , ○大竹敏也 ¹ , 大野徹 ¹ , 西本浩之 ¹ , 小出哲哉 ¹ , 中坊昌也 ¹ , 坂紀邦 ¹ , 稲生圭哉 ² (¹ 愛知農総試, ² 農研機構農環研)
10:15	D207	地域特産作物等の葉菜類を対象とした残留農薬濃度予測手法の開発 (第2報)ー高知県のニラを対象とした薬液付着率および成長速度に関する基礎的データの整備ー ○島本文子 ¹ , 清遠亜沙子 ¹ , 市原勝 ¹ , 稲生圭哉 ² (¹ 高知県農技セ, ² 農研機構農環研)
10:30	D208	地域特産作物等の葉菜類を対象とした残留農薬濃度予測手法の開発 (第3報)ー収穫部位への薬液付着率と作物の成長速度をパラメータとした農薬濃度分布の推定ー ○稲生圭哉 ¹ , 清家伸康 ¹ , 渡邊栄喜 ¹ , 與語靖洋 ¹ , 伊藤涼太郎 ² , 大竹敏也 ² , 島本文子 ³ , 清遠亜沙子 ³ (¹ 農研機構農環研, ² 愛知農総試, ³ 高知県農技セ)
10:45	D209	農薬の後作物残留リスク評価に関する研究 第12報 マイクロ抽出による土壌中の作物可給態ネオニコチノイド系農薬の簡易定量法 ○渡辺栄喜, 清家伸康(農研機構 農業環境変動研究センター)

- 11:00 D210 農薬の後作物残留リスク評価に関する研究 第13報
土壌から水抽出される農薬の消長-室内試験による深度別評価-
○秋山嘉大¹, 元木裕¹, 岩船敬², 清家伸康³(¹独立行政法人農林水産消費安全技術センター, ²内閣府食品安全委員会事務局, ³国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター)
- 11:15 D211 農薬の後作物残留リスク評価に関する研究 第14報
黒ボク土畑ほ場における農薬の土壌-土壌溶液間の分配係数
○元木裕¹, 岩船敬², 清家伸康³, 稲生圭哉³, 並木小百合³(¹独立行政法人農林水産消費安全技術センター, ²内閣府食品安全委員会事務局, ³国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター)
- 11:30 D212 STQ法を用いた酒類の残留農薬分析の検討
○福田有希¹, 小川聡子¹, 山本祐子², 金子剛¹, 土屋陽一¹(¹サッポロホールディングス株式会社, ²ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社)
- 11:45 D213 膜ろ過精製を利用した残留農薬の簡易, 迅速, 一斉分析法の開発
○岡本みなみ¹, 川嶋文人², 濱田典明²(¹三浦工業株式会社, ²愛媛大・農)
- 12:00 D214 FT-IRを用いた集取農薬と農薬見本の同等性の確認 第2報 液剤と粒剤への適用
○渡辺高志(農林水産消費安全技術センター・農薬検査部)
-

第3日 3月8日(水)午前の部 A会場(グリーンホール)

8:45	A301	イミダゾリジン環を種々修飾したイミダクロプリド類縁体の合成と生物活性 ○西脇寿, 城埜歩美, 釘屋敦基, 西岡淳史, 橋本里奈, 小川佳奈子, 高岡巧, 松原祐佳, 山内聡 (愛媛大院・農)
9:00	A302	Dieldrin, Aldrin, Endrin, Isodrin, γ -BHC とその類縁体の GABA アンタゴニスト活性 ○高市成美 ¹ , 松田一彦 ¹ , 尾添嘉久 ² , 赤松美紀 ³ , 田中啓司 ⁴ (¹ 近畿大農, ² 島根大生物資源, ³ 京都大農, ⁴ 近畿大農&名古屋大 iMass 研)
9:15	A303	BHC 立体異性体とその関連化合物の GABA アンタゴニスト活性 ○田中啓司 ¹ , 高市成美 ² , 尾添嘉久 ³ , 松田一彦 ² (¹ 近畿大農&名古屋大 iMass 研, ² 近畿大農, ³ 島根大生物資源)
9:30	A304	グルタミン酸作動性塩素イオンチャネルのフルララネルとイベルメクチンに対する感受性を決定づけるアミノ酸残基 ○中田侑之介 ¹ , 旭美穂 ² , 中平国光 ² , 尾添富美代 ¹ , 尾添嘉久 ¹ (¹ 島根大・生資科, ² 日産化学・生科研)
9:45	A305	殺ダニ剤アミトラズとその代謝物の β -アドレナリン様オクトパミン受容体オルトステリック部位変異体に対する作用 ○高田瑞貴, 美里成志, 尾添富美代, 尾添嘉久(島根大・生資科)
10:00	A306	新規殺虫剤フルキサメタミド(グレーシア®)に関する研究(第三報) 作用機構解析 ○旭美穂 ¹ , 中平国光 ¹ , 尾添嘉久 ² (¹ 日産化学工業株式会社, ² 島根大・生資科)
10:15	A307	愛知県におけるハスモンヨトウの BT 剤, IGR 剤 および オキサジアジン系殺虫剤に対する薬剤感受性の動態および相関性 ○平野忠美, 子安英雄, 政美加(JAあいち経済運営農支援センター)
10:30	A308	エリシターペプチド結合タンパクの探索を目的としたケミカルプローブの合成 ○高橋宗之, 田母神繁 (秋田県立大院・生物資源)
10:45	A309	コレラ菌 NADH-キノン酸化還元酵素の阻害剤コロールミシンの単離と全合成研究 ○伊藤剛 ¹ , 戸崎龍彦 ¹ , 村井正俊 ¹ , Blanca Barquera ² , 三芳秀人 ¹ (¹ 京大院・農, ² レンセラー工科大・生物科学)
11:00	A310	AD-mix を活用する光学活性アリルアルコール類の簡便な合成と天然物合成への応用 ○矢島新, 浦尾翔太, 飯塚悠, 勝田亮, 額田恭郎 (東農大・応生科)

- 11:15 A311 不斉脱炭酸型アリル化反応を用いた α -フルオロメタンスルフェニルケトンの合成
○近藤寛也, 郭明, 前野万也香, 徳永恵津子, 柴田哲男 (名工大院工)
- 11:30 A312 メタ位, パラ位に SF_5 基を有するピリジン類の合成
○松崎浩平¹, Mikhail Kosobokov¹, Benqiang Cui¹, Andrii Balia¹, 徳永恵津子¹, 齋藤記庸², 柴田哲男¹ (¹名工大院工, ²宇部興産(株))
- 11:45 A313 ジシアノアルキリデン類に対する可視光によるトリフルオロメチル化反応の開発
○広村知也, 松崎浩平, 徳永恵津子, 柴田哲男 (名工大院工)
-

第3日 3月8日(水)午前の部 B会場 (共通講義棟A 講11)

-
- | | | |
|-------|------|--|
| 8:45 | B301 | チャノコカクモンハマキにおけるジアシルヒドラジン系 IGR 抵抗性の遺伝子診断技術開発
○浅野美和 ¹ , 上樂明也 ¹ , 内山徹 ² , 小澤朗人 ² , 秋月岳 ¹ , 篠田徹郎 ¹
(¹ 農研機構・生物機能利用部門, ² 静岡県農林技術研究所・茶業研究センター) |
| 9:00 | B302 | 新規殺虫剤標的分子としての昆虫のミトコンドリア膜 CoA 輸送体の遺伝子とその機能
皆葉正臣 ¹ , 菅原亮平 ¹ , 上樂明也 ¹ , 山本武範 ² , 篠原康雄 ² , 小瀧豊美 ¹ , 三芳秀人 ³ , ○塩月孝博 ¹ (¹ 農研機構・生物機能利用研究部門・昆虫科学研究領域, ² 徳島大・先端酵素学研究所, ³ 京都大院・農) |
| 9:15 | B303 | 新規殺ダニ剤ピフルブミドに関する研究(第8報)
-ハダニにおける代謝と作用機構に関する考察-
○中野元文, 相澤研介, 乾寛, 村田洋平, 古谷敬, 坂田和之(日本農薬(株)) |
| 9:30 | B304 | 合成ユビキノンは出芽酵母ミトコンドリア電位依存性アニオンチャンネル(VDAC)に特異的に結合する
○村井正俊 ¹ , 奥田絢香 ¹ , 山本武範 ² , 篠原康雄 ² , 三芳秀人 ¹
(¹ 京都大院・農学研究科 ¹ , ² 徳島大・疾患プロテオゲノム研究センター) |
| 9:45 | B305 | DuPont™ PyraXalt™ (DPX-RAB55; Triflumezopyrim) for Rice Plant hopper management
○Vineet Singh, Robert M Leighty, Daniel R Vincent, Luis Teixeira, Daniel Cordova, Rameshwar S Rattan, Wen Wu, Iskandar Zulkarnain, Sanjay Sharma, Andreas Huber, 柳澤大介, 小川晴也(Du Pont Crop Protection) |
| 10:00 | B306 | DuPont™ PyraXalt™ (DPX-RAB55; Triflumezopyrim)-A new tool for IPM programs in rice in AP
○Rameshwar Singh Rattan, Vineet Singh, 柳澤大介, 小川晴也, Luis Teixeira, Robert M Leighty, Daniel R Vincent, Brugger, Kristin E, Oscar Edralin, Ya-Fei Pan, Pampapathy Gurulingappa, Katerina Kyriazi-Huber, Axel Dinter (Du Pont Crop Protection) |
| 10:15 | B307 | 担子菌類からのアフラトキシン生合成阻害物質の探索
○松野佑哉 ¹ , 上野琴巳 ² , 石原亨 ² (¹ 鳥取大院・農, ² 鳥取大・農) |
| 10:30 | B308 | 青枯病菌の走化性誘引物質の探索(第二報)
○長谷川琢也, 岡部淳, 加藤雄亮, 川出洋, 夏目雅裕(東農工大・連農) |

- 10:45 B309 植物由来の代謝物を用いた赤かび病防除及びかび毒低減化技術の開発
○西内巧¹, 澤田有司², 平井優美², 中島祐一³, 佐藤和広⁴, 木村真³
(¹金沢大・学際セ, ²理研・CSRS, ³名古屋大・農, ⁴岡山大・資植研)
- 11:00 B310 ジベレリン生合成阻害剤によるラン科植物の発芽と共生の促進効果
古井佑樹¹, 山本樹稀¹, 三浦千裕², 谷亀高広³, 大和政秀⁴, ○上中弘典²
(¹鳥取大・院農, ²鳥取大・農, ³瑞穂町郷土資料館, ⁴千葉大・教育)
- 11:15 B311 日本型イネ由来の新規な代謝酵素 HIS1 の機能解析
○山崎明彦¹, 関野景介¹, 山田祐司¹, 前田英郎², 村田和優³, 加藤浩⁴,
川田元滋⁵, 大島正弘⁵, 戸澤譲⁶ (¹株式会社エス・ディー・エス バイオ
テック, ²農研機構・中央農業研究センター, ³富山県・農林水産総合技術
センター, ⁴農研機構・次世代作物開発研究センター, ⁵農研機構・生物機能
利用研究部門, ⁶埼玉大院・理工)
- 11:30 B312 イソチオシアネート類による種子発芽阻害活性に着目した発芽時のアミノ酸
動態
○野下浩二, 小野 翼, 熊谷陽太, 阿部誠, 田母神繁 (秋田県大・生物資源)
- 11:45 B313 根寄生雑草ヤセウツボの発芽種子で発現している α -ガラクトシダーゼの
機能解析
馬場敦也¹, 徳永智哉¹, 木場康介¹, 小川拓水¹, 杉本幸裕^{2,3}, 太田大策¹,
○岡澤敦司^{1,3} (¹ 阪府大院・生命環境, ² 神大院・農, ³JST/JICA・
SATREPS)
-

第3日 3月8日(水)午前の部 C会場 (共通講義棟A 講21)

8:45	C301	<p>ブラシノステロイドによる誘導抵抗性に対するアブシジン酸シグナルの影響</p> <p>○草島美幸, 井上真依, 仲下英雄(福井県大・生資)</p>
9:00	C302	<p>細菌エンドファイトがトマトに誘導する抵抗性の解析</p> <p>○藤田萌香¹, 奥村泰子¹, 草島美幸¹, 西内巧², 仲下英雄¹(¹福井県大, ²金沢大)</p>
9:15	C303	<p>全身獲得抵抗性における植物ホルモン応答性遺伝子の解析</p> <p>○奥村泰子, 草島美幸, 仲下英雄(福井県大・生資)</p>
9:30	C304	<p>新規除草剤フェンキトリオンの水稻における代謝及び残留</p> <p>○堀田雄大, 池田光政(クマイ化学工業株式会社 生物科学研究所)</p>
9:45	C305	<p>新規除草剤フェンキトリオンのラットにおける代謝</p> <p>○小野友慈, 池田光政(クマイ化学工業株式会社 生物科学研究所)</p>
10:00	C306	<p>水耕栽培法を利用したモデル有機化合物[¹⁴C]DMPの幼植物根部からの 吸収, 移行及び代謝に関する研究</p> <p>○上田洸平, 杉岡大介, 林靖, 大山和俊(一般財団法人残留農薬研究所)</p>
10:15	C307	<p>ダイズシストセンチュウにおける硝酸イオンへの誘引</p> <p>○細井昂人¹, 吉田ひかり², 勝山勉¹, 近藤竜彦³, 佐々木康幸², 矢嶋 俊介², 伊藤晋作²(¹東農大院・農学研究科, ²東農大・バイオ, ³名大院・ 生命農学)</p>
10:30	C308	<p>生物防除資材候補非病原性 <i>Fusarium oxysporum</i> W5 花器処理によるイネ 種子での生残性および保存安定性</p> <p>佐々木舞衣¹, 齊藤大幹¹, 畠山聡², 梅村賢司², 倉内賢一³, 鈴木智貴^{4,5}, 小松健^{1,6}, 有江力¹(¹農工大院農, ²Meiji Seika ファルマ(株), ³青森 産技セ, ⁴宮城古川農試, ⁵現仙台農業改良普及セ, ⁶農工大グローバル イノベーション研究院)</p>
10:45	C309	<p>生物防除資材候補非病原性 <i>Fusarium oxysporum</i> W5 bud cell 懸濁液 および試作製剤の病害抑制効果</p> <p>○齊藤大幹¹, 佐々木舞衣¹, 畠山聡², 梅村賢司², 倉内賢一³, 鈴木 智貴^{4,5}, 小松健^{1,6}, 有江力¹(¹農工大院農, ²Meiji Seika ファルマ (株), ³青森産技セ, ⁴宮城古川農試, ⁵現仙台農業改良普及セ, ⁶農工 大グローバルイノベーション研究院)</p>
11:00	C310	<p>新規殺菌剤ピカルブトラゾクスに関する研究 第1報 動物代謝</p> <p>○永野泰子, 森初久, 永野愛, 池山聖一, 大久保志麻(日本曹達株式会社)</p>
11:15	C311	<p>新規殺菌剤ピカルブトラゾクスに関する研究 第2報 植物代謝</p> <p>○下村肇, 横山雅裕, 杉山裕隆, 中村一男, 扇好信, 佐藤あゆみ(日本曹達 株式会社)</p>

- 11:30 C312 新規殺菌剤ピカルブトラゾクスに関する研究 第3報 土壌中動態
○榊優子, 田代恵介, 辻陽子, 中村一男(日本曹達株式会社)
- 11:45 C313 新規殺菌剤ピカルブトラゾクスに関する研究 第4報 水中分解動態
○榊優子, 田代恵介, 辻陽子, 中村一男(日本曹達株式会社)
-

第3日 3月8日(水)午前の部 D会場 (共通講義棟 A 講 24)

- | | | |
|-------|------|--|
| 8:45 | D301 | マンゴー果実病害に対する殺虫剤と殺菌剤を組み合わせた体系散布による発病抑制効果
○安次富厚, 山城麻希, 大城篤 (沖縄県農業研究センター) |
| 9:00 | D302 | シミュレーションモデルによる無人ヘリコプター農薬散布での落下分散評価方法の検討
○小原裕三 ¹ , 柳真一 ² , 中島満 ² (1農研機構農業環境変動研究センター, 2(一社)農林水産航空協会) |
| 9:15 | D303 | スイカ生産現場におけるクロルピクリンを用いた土壌くん蒸時の大気中薬剤濃度の推移と距離減衰
○山本幸洋 ¹ , 武田藍 ¹ , 國友映理子 ¹ , 塩見崇史 ² , 小原裕三 ³ (1千葉農林総研, 2(株)数理計画, 3農研機構 農環研) |
| 9:30 | D304 | 松くい虫防除剤の地上散布作業者に対する研修の必要性: 千葉県, 長野県, 群馬県で目撃された不適切散布の事例
○本山直樹 ¹ , 吉岡賢人 ² , 阿部豊 ³ , 田畑勝洋 ⁴ (1千葉大, 2吉岡緑地, 3NPO 松くい虫, 4岐阜国際園アカデ) |
| 9:45 | D305 | 高脂溶性汚染物質によって引き起こされる作物汚染の農薬による低減
○乾秀之 ^{1,3} , 田中濤月 ² , 中島一成 ² , 野本友愛 ² , 三木碩己 ² , 藤田健太郎 ³ (1神戸大・バイオ, 2神戸大附属・中等, 3神戸大・農) |
| 10:00 | D306 | 島根大学における「農薬をよく知ってもらうための教育活動」(1)
○巢山弘介 (島根大・生物資源科学部) |
| 10:15 | D307 | ヘイケボタル幼虫の殺虫剤感受性
○西浦愛子, 細川幸一 (福井県農業試験場) |
| 10:30 | D308 | アゾール系およびクロロアセタミド系農薬の 3T3-L1 脂肪細胞分化促進効果
○永井宏幸 ¹ , 楠堂達也 ² , 後藤剛 ³ , 南谷臣昭 ¹ , 河田照雄 ³ , 後藤黄太郎 ¹ (1岐阜県保健環境研究所, 2帝塚山学院大・人間科学, 3京都大・農学研究科) |
| 10:45 | D309 | 根粒菌 <i>Bradyrhizobium elkanii</i> USDA94 が除草剤 2, 4-ジクロロフェノキシ酢酸(2, 4-D)分解能を獲得する機構について
○林昌平, 小林慎之介, 井藤和人, 巢山弘介 (島根大・生物資源) |
| 11:00 | D310 | アカパンカビの cAMP 高感受性 <i>cr-1;pde-2</i> 株における fludioxonil 誘導遺伝子群の発現と抑制
○山口友輔, 相澤菜友, 堀内愛実, 藤村真 (東洋大・生命科学部) |

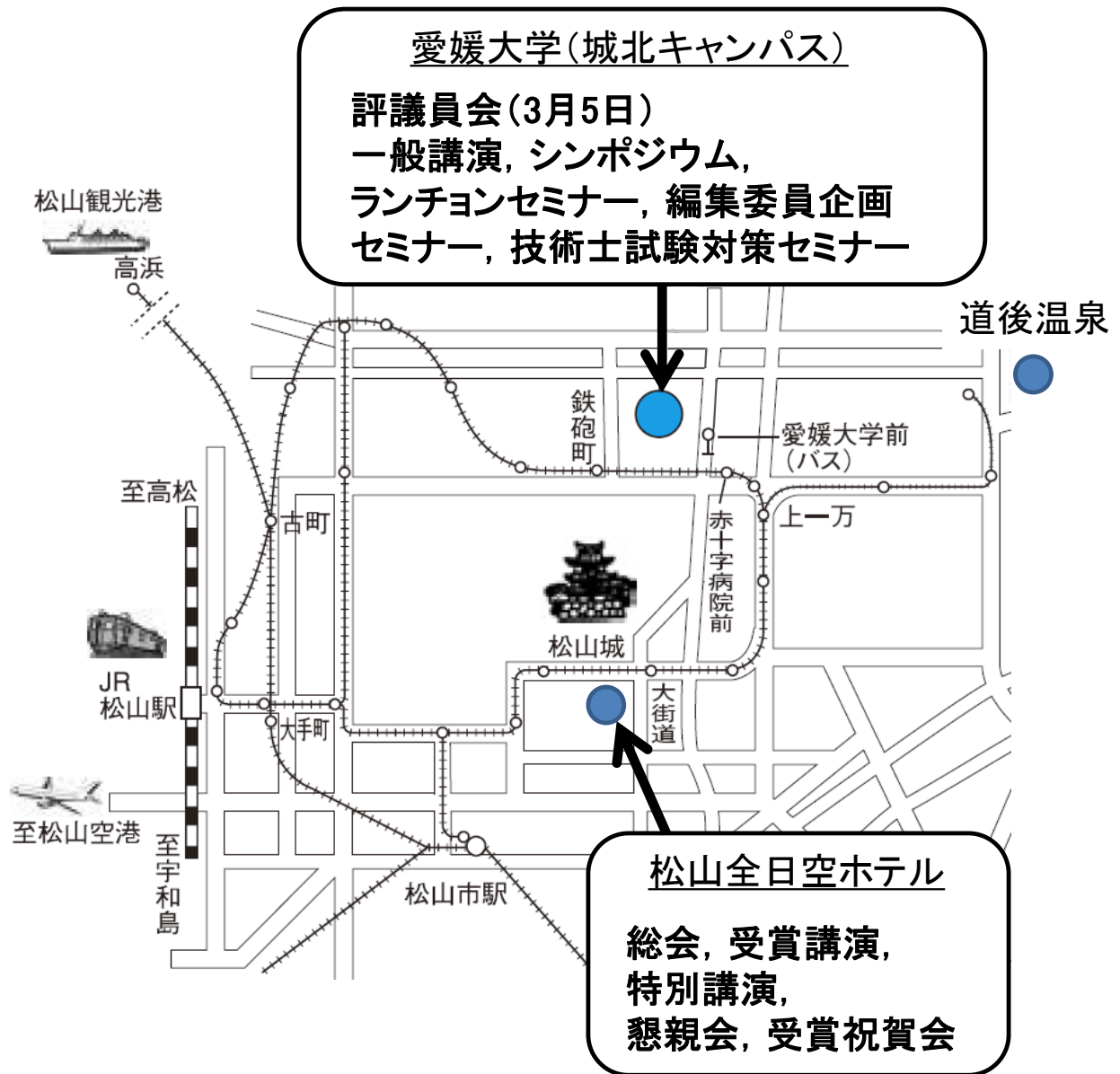
- 11:15 D311 アカパンカビのミトコンドリア電子伝達系複合体Iの各種変異株に対するアゾキシストロビンとテブフェンピラドの感受性
○堀内愛実, 高橋辰乃介, 山口友輔, 藤村真(東洋大・生命)
- 11:30 D312 *Alternaria alternata*における tentoxin 生合成遺伝子群の同定
山口滋生¹, 藤岡智則¹, 町田雅之², ○河合清¹ (1クミアイ化学工業, 2産業技術総合研究所)
- 11:45 D313 *Nocardioides* sp. PD653 株における好氣的ヘキサクロロベンゼン脱塩素分解酵素遺伝子の同定
○伊藤虹児^{1,2}, 岩崎昭夫³, 田中尚人¹, 兼崎友⁴, Fabrice Martin-Laurent⁵, 五十君静信¹, 高木和広^{1,2} (1東農大院, 2国)NARO 農業環境変動研究センター, 3順天堂大 臨床研究支援センター, 4東農大 生物資源ゲノム解析センター, 5INRA, Dijon)
-

会場案内

松山全日空ホテル (<https://www.anahotelmatsuyama.com/facilities/access/>)

(総会, 学会賞授賞式, 受賞講演, 特別講演, 懇親会, 受賞祝賀会)

航空機をご利用の場合松山空港から空港連絡バスで「大街道」下車(所要約30分). JR松山駅前より伊予鉄道5系統(松山駅前線)で「大街道」下車(所要13分). 大街道よりホテルまで徒歩3分.



グリーンホール(A会場)および共通講義棟 A 案内図

